

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告 ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 170 2014.3.16 連絡先 402-1622 >

2014年度予算案等議案審査

2月議会に上程された議案は全部で117議案あります。補正分38議案は3月3日までに審査・採決されました。残りの議案は11日から各常任委員会で審査され、最終的に20日の本会議で採決されます。

主な議案である2014年度予算案は、総額で2893億4305万9千円（一般会計1455億327万6千円、16ある特別会計の合計1250億4550万3千円、上水道などの公営企業会計187億9428万円）です。一般会計の歳入の主なものは、市税が39.3%、国庫支出金が20.7%、市債が12.6%となっています。歳出の主なものは、民生費43.3%、土木費12.5%、公債費10.8%、衛生費10.0%となっています。教育費は7.0%です。

他には、4月からの消費税増税に関わって使用料などの引き上げの条例改正の議案が40余あります。また国の法律が変わったことによる条例改正もあります。

私松坂は厚生委員会に所属していますので、健康局、福祉局、市民環境局に関する議案の審査を行います。

審査の結果、市民のためにならないと判断される議案には反対、そうでないものには賛成します。



本会議はインターネット中継されていますので、パソコンなどでリアルタイムで見ることができます。数日後には録画で見ることができます。ぜひご覧ください。

先日テレビを見ていると、とても元気な一般女性の方が座右の銘を聞かれて、「死ぬこと以外はかり傷！」と答えていました。「生きてるかぎりいろんなことがあるもんだ。小さい小さい！くよくよするな！」と激励されたような気持ちになりました。

また、最近美容院で手にした本に「不安があるときは、じたばたしないでじっとすること。濁つた水も置いておくと澄んでくる」という意味のことが書いてありました。なるほどと思いました。

どちらも、困ったときやしんどい時の「気」の持ちようを示してくれています。「動」と「静」。

対照的な気持ちのあり方を、口を置かずに目にしたことには不思議な感じがしています。

前出の女性がこうも言っています。

「あれば便利はなくとも平氣反省。」

こんにちは加藤なおとです



改めて事故の深刻さ被害の広範さ被害損失額復旧の時間口スにおいて最大の公害、人災だ。と思い知られました。強制避難者は生き残りました。ごと奪われ、健

康被害が省みられず集団提訴が起こります。訴訟団1395人の内222人が子ども、さらに内15人の子どもは事故後に誕生とのことです。人生をかけた闘いだと現状とともに原発ゼロに向けた運動課題も的確に述べられました。それは子どもの検診、医療保障であり、放射能に対する差別を許さない教育であり、原発労働者の多重偽装下請け、使い捨て労働をやめさせることと、最後に全原発廃炉の後、自然再生エネルギー革命の方針の四点を挙げられました。この真実を広くと強く感じています。

今議会では次の通告による一般質問が行われました

- 戸田正人（絆クラブ）まちづくりについて
教育行政について

森下佐知子（共産党）中小企業対策について
社会保障制度について

薮 浩昭（公明党）教育行政について
防犯について

松坂美知子（共産党）介護保険について
平和行政について

中塚 隆（公明党）高齢者施策について

小川孝夫（絆クラブ）国体について
保健行政について

島 幸一（絆クラブ）インフラの老朽化について
まちなか再生について

渡辺忠広（共産党）市駅前開発について
予算のあり方について

中尾友紀（公明党）福祉・医療行政について
消防行政について

南畠幸代（共産党）介護施策について
自転車走行環境整備の取り組み
について

山本忠相（無所属）平成26年度予算案について
地方自治について

園内浩樹（公明党）交通政策等について
市長の政治姿勢について

芝本和己（市民クラブ）本市まちづくりの将来展望に
ついて（施政方針から）

姫田高宏（共産党）児童女性会館の休館について
大規模盛土造成地マップについて

佐伯誠章（市民クラブ）市長の政治姿勢について
居住環境の整備について
中心市街地のまちづくり施策
について

憲法学習会 憲法9条と集団的自衛権

**講師 川村俊夫氏
憲法会議代表理事**
日時 3月22日（土）13時
**場所 勤労者総合センター 6F
(和歌山市役所西隣)**
参加費 無料

安倍政権は、「戦争する国づくり」に向けて重大な動きをすすめています。

4月以降「安保法制懇」に集団的自衛権行使容認と個別的自衛権を拡大する憲法解釈変更報告を出させて、通常国会での憲法解釈変更をねらっています。解釈の変更だけで集団的自衛権行使を容認していく安倍首相の国会答弁に対して、保守の方々や自民党内からも相次いで批判が上がっています。